

理事長・学校長殿

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
理事長 福田 益和

公印省略

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団
令和4年度 中堅教職員研修会
「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」
「リスクマネジメント（クレーム対応）」
「教職員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教職員育成研修）」
「能動的学修（職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習）」
「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」
開催のご案内

平素より本財団事業に対しまして格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本財団では、専修学校制度発足以来、独自のカリキュラムに基づき「新任教員研修」を実施し、専修学校における新任教職員の資質向上に努めて参りました。

また、平成24年度より、文部科学省の教育研修活動費補助事業の一環として、「中堅教員研修カリキュラム」の研究・開発を進めております。これは、新任教員研修カリキュラム修了程度有能力を有する方等を対象に、専修学校教育において、後進の指導等を含め、専修学校教育の振興に尽力することが期待される中核的・専門的な役割を担う中堅教職員の育成を目的としたものです（カリキュラムの考え方及び構成に関しましては、8頁をご参照ください）。

この度、中堅教職員研修会①「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」（対面）、②「リスクマネジメント（クレーム対応）」（オンライン）、③「教職員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教職員育成研修）」（対面）、④「能動的学修（職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習）」（対面）、⑤「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」（オンデマンド・オンライン）を開催いたします。

つきましては、詳細は実施要項をご参照いただき、参加を希望される方は、同封の受講申込書に必要事項をご記入の上、**7月8日（金）までに**下記へファクシミリにてお申し込みください。（定員になり次第、締め切りとさせていただきます。満席時には、当財団ホームページ上でお知らせいたします。）

[お問い合わせ・お申し込み先]
一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団<略称：TCE財団>
(Association for Technical and Career Education)
〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25 私学会館別館
TEL：03(3230)4814 FAX：03(3230)2688

令和4年度 中堅教職員研修会 実施要項

【主催】 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）

【科目名】 ①「学級経営・学生対応（学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング）」

②「リスクマネジメント（クレーム対応）」

③「教職員のキャリアデザインワークショップ（これからの専修学校を担う自立型教職員育成研修）」

④「能動的学修（職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習）」

⑤「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」

【対象】 専修学校の中堅教職員（目安：勤続5年程度以上）

【申込期日】 令和4年7月8日（金）（定員になり次第、締め切りとさせていただきます。満席時には、当財団ホームページ上でお知らせいたします。）

①「学級経営・学生対応(学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング)」

【内容・目的】

これまでの教科担当、クラス指導の経験を振り返り、自分の強みと弱みを再確認し、今後学校の中核として業務を遂行できる人材になることを目標とする。そのために学生に対する「全体指導」「個別指導」の手法を棚卸しして、学生への効果的な動機付けの手法や、所属する学科の運営方法を学ぶ。

具体的には、小学校・中学校・高等学校の各学校現場で、クラス運営を効果的に行うための手法の一つとして「Q-Uアセスメント」というものが活用されている。Q-Uは、教員が「①生徒個々の実態」「②学級集団の状態」「③個人と学級集団との関係」を十分に把握し、実態に応じた教育活動が展開できるように、その一助となることを目指したものである。

近年、このQ-Uの専門学校版が開発され、実際に専門学校の現場でクラス運営の改善等に活用され、学生の「対人関係形成能力」や「社会形成能力」を育成する上で教育効果を上げている事例もある。本科目では、Q-Uの意義や理論、そして実践方法を学び、学生に対する教員個々の指導力を向上させるとともに、校内での教員間の連携を強化し、より効果的なクラス・学科運営が行えるようになることをねらいとする。

【定員】 16名

【日時】

科目・時間数・開催形式	日時・会場
学級経営・学生対応（計12時間） 対面形式	令和4年7月14日（木）13:00～18:00 15日（金）9:00～17:00 ※2日目 12:00～13:00は昼休み 東京・主婦会館プラザエフ・4階シャトレ 東京都千代田区六番町15 (http://plaza-f.or.jp/)

【受講料】

科目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
学級経営・学生対応	1名 13,500円	1名 27,000円

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡をメールでお送りします。事務連絡をご確認の上、研修会当日ご来場ください。

② 「リスクマネジメント(クレーム対応)」

【内容・目的】

中堅教職員として、リスクマネジメントに関わることは、学校経営の根本的な問題のみならず、日々の運営の中で諸問題に適切に対応し、解決を図る上で強く要請されている。また、クレーム対応には、原理・原則があり、それを踏まえて行動すれば難しいものではない（その中でも最も重要なのは「顧客（学生・ステークホルダー）の心情を理解してふるまう」ことである）。

本科目の受講者は、クレームの基本概念を理解し、過去の代表的な事例からクレーム対応の手順や留意点を知る事で、専修学校におけるクレームの諸問題に対応力を高め、中堅教職員としてふさわしい問題解決能力を身に付けられることを目標とする。

また、組織によるクレーム対応についても学ぶことにより、自組織のCS（顧客満足度）改善計画や企画策定など、リスクマネジメントについての理解を深めることも目標とする。

【定 員】 16名

【日 時】

科目・時間数・開催形式	日 時
リスクマネジメント（計6時間） オンライン形式	令和4年7月22日（金）10:00～17:00 ※12:00～13:00 は昼休み

【受 講 料】

科 目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
リスクマネジメント	1名 9,000円	1名 18,000円

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡をメールでお送りします。事務連絡で研修会当日インターネット上でご接続いただく ZOOM URL のご案内もいたします。

③ 「教職員のキャリアデザインワークショップ(これからの専修学校を担う自立型教職員育成研修)」

【内容・目的】

学生のキャリア形成支援を行う専修学校教職員として、教科指導やクラス運営等を経験する中で、学生対応をより良きものとするために、更に教育指導力を高めようとする。そのような中、中堅教職員として、学科として行う職業教育全般の企画運営や学校運営全体のマネジメントを行う方向に進むか、或いは教育専門職としての進路を目指すか等、教職員自らのキャリアパスについて考える転機を迎えることになる。

そのような時に備える意味で、自らが組織の中で更なる活躍の期待に応え、同時に、自らが主体的かつ自立的に将来設計を行い、学校と自分自身が共に成長するべくアクションプランニングを行う。

【定 員】 16名

【日 時】

科目・時間数・開催形式	日 時 ・ 会 場
教員のキャリアデザイン ワークショップ (計24時間) 対面形式	令和4年8月22日（月）11:00～19:30
	23日（火）9:00～19:30
	24日（水）9:00～17:00 ※12:00～13:00 は昼休み
	東京・主婦会館プラザエフ・8階パンジー 東京都千代田区六番町15 (http://plaza-f.or.jp/)

【受講料】

科 目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
教員のキャリアデザイン ワークショップ	1名 30,000円	1名 60,000円

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡と事前課題をメールでお送りします。事務連絡をご確認いただき、事前課題にご記入の上、研修会当日にご持参してご来場ください。

④ 「**能動的学修(職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習)**」

【内容・目的】

アクティブ・ラーニングが必要だ、と言われたことがあると思います。なぜアクティブ・ラーニングが必要なのでしょうか。また、アクティブ・ラーニングとは、そもそもどのような学び方なのでしょうか。

本科目では、アクティブ・ラーニングが必要とされる背景と考え方について学びます。人が学ぶプロセスを「学習サイクル」から考え、具体的な日々の授業で何に気をつけて授業をデザインすれば、より深く、学びを促進できるかを具体的な個々の授業実践の中で検討します。

本科目自体をアクティブ・ラーニング形式で、授業で使えそうなツールやテクニックを織り交ぜて実施します。これらを通して、「明日からアクティブ・ラーニング型授業をやってみよう」と思えることを目指します。

【定 員】 16名

【日 時】科目・時間数・開催形式	日 時 ・ 会 場
能動的学修 (計12時間) 対面形式	令和4年9月5日(月) 13:00~18:00 6日(火) 9:00~17:00 ※2日目 12:00~13:00 は昼休み
	東京・主婦会館プラザエフ・3階コスモス 東京都千代田区六番町15 (http://plaza-f.or.jp/)

【受講料】

科 目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
能動的学修	1名 13,500円	1名 27,000円

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡と事前課題をメールでお送りします。事務連絡をご確認いただき、事前課題にご記入の上、研修会当日にご持参してご来場ください。

⑤ 「**体系的カリキュラム・シラバス作成(インストラクショナル・デザイン)**」

【内容・目的】

より学生に分かりやすく効率的に学べるカリキュラム・シラバスを作成する手法としてインストラクショナル・デザイン(ID)がある。このIDとは何かを学び、これを用いてカリキュラム・シラバスを設計・開発できるようになるのが本科目の目標である。

【定 員】 20名

【日 時】

科目・時間数・開催形式	日 時
体系的カリキュラム・シラバス作成 (計 12 時間) オンデマンド・オンライン形式	令和4年9月16日(金) 9:00~17:00 ※12:00~13:00 は昼休み ※オンラインで開催(7時間) ※計 12 時間のうち 5 時間分はオンデマンド教材で随時学習していただきます。

【受講料】

科 目	TCE財団の都道府県支部の会員校	左記以外
体系的カリキュラム・シラバス作成	1名 13,500円	1名 27,000円

【お申込後の流れ】

事務局より事務連絡をメールでお送りします。教材(稲垣忠・鈴木克明著『授業設計マニュアルVer.2:教師のためのインストラクショナルデザイン』北大路書房)を購入しご一読ください。事務連絡でオンデマンド(5時間分)とオンライン(7時間)についてのご案内もいたします。

全科目共通

【申込方法】 別紙の「受講申込書」に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

⇒FAX:03(3230)2688

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団(TCE財団) 事務局 総務課宛

【受講料】

- ※ 受講日まで下記口座にお振込みください。研修会当日の現金の受け渡しはご容赦ください。
- ※ 受講料の返金は致しかねます。ご欠席の場合は代理の方のご出席をお願いします。

みずほ銀行 九段支店(普通) 2386904

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団

(振込手数料は貴校にてご負担ください)

【修了基準】

『学級経営・学生対応(学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング)』(12時間)、『リスクマネジメント(クレーム対応)』(6時間)、『教職員のキャリアデザインワークショップ』(24時間)、『能動的学修(職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習)』(12時間)、『体系的カリキュラム・シラバス作成(インストラクショナル・デザイン)』(12時間分)それぞれについて、各科目所定の研修時間を全て受講された方につきましては、本財団より「修了証」を発行いたします。教員の方々だけでなく、職員の方々もぜひご参加ください。

【タイムテーブル】

①「学級経営・学生対応(学級経営の効果的手法と学生の個別カウンセリング)」

◆日 時 : 令和4年7月14日(木) 13:00~18:00

15日(金) 9:00~17:00

(2日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)

◆講 師 : NPO日本教育カウンセラー協会 理事 藤川 章 氏

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 初日開講 ○オリエンテーション ○「学級経営の基礎基本」 ○「体系的な手法を活かした学級経営～Q-Uを使った学級づくり～」 ○「学級経営に活かすソーシャルスキルトレーニング」 ○シェアリング
18:00 (2日目) 9:00	初日終了 2日目再開 ○「学級経営と個別面接～Q-Uの活用～」 ○「学級経営に活かすSGE～構成的グループエンカウンター～」 ○まとめ
17:00	アンケート記入 閉会

② 「リスクマネジメント（クレーム対応）」

◆日時	： 令和4年7月22日（金）10:00～17:00 (昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)
◆講師	： 一般社団法人日本経営危機管理協会 認定講師 野関 由味子 氏

予定時間	予定内容
9:45 10:00	受付 初日開講 ○「求められる『教職員（学校）像』とは」 ○「リスクマネジメントの基本」 ○「CS（学生・ステークホルダーの満足度）を考える」 ○「コロナ禍における学校リスクマネジメント」 ○「過去の代表的な事例からみるクレームとは」 ○「クレーム対応の基本手順」 ○「クレーム対応で留意すべき点」 ○「組織としていかにクレームに対応するか」 ○まとめ
17:00	閉会

③ 「教職員のキャリアデザインワークショップ」

◆日時	： 令和4年8月22日（月）11:00～19:30 23日（火） 9:00～19:30 24日（水） 9:00～17:00 (昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)
◆講師	： 関東学院大学人間共生学部 講師 道幸 俊也 氏 株式会社ウェルネス研究所 代表取締役 青木 慶子 氏

予定時間	予定内容
(初日) 10:45 11:00	受付 初日開講 ○「キャリアとは？」 ○「キャリアデザインについて」 ○「中堅教員の立場と役割」
19:30 (2日目) 9:00	初日終了 2日目再開 ○「自己のキャリアの棚卸し」 ○「自己理解について」 ○「自分のできることとやる気の根っこ」 ○「キャリアビジョンシートについて」
19:30 (3日目) 9:00	2日目終了 3日目再開 ○「環境分析について」 ○「これからの自分を考える」 ○今後のキャリアビジョンと具体的な行動プランの考察・発表
17:00	閉会

④「能動的学修(職業人としての汎用的能力を養うアクティブ・ラーニングの体験学習)」

◆日時	令和4年9月5日(月) 13:00~18:00 6日(火) 9:00~17:00 (2日目の昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)
◆講師	京都大学高等教育研究開発推進センター 准教授 田口 真奈 氏

予定時間	予定内容
(初日) 12:45 13:00	受付 初日開講 ○プログラムの流れの説明 アイスブレイク・他己紹介 ○「アクティブ・ラーニングとは何か」 カタルタを用いたアウトプット ○「アクティブ・ラーニングを促す授業デザイン」 スマホで講義中に質問してみよう ○ジグソー法でアクティブ・ラーニングの技法を学ぼう ○ペアワーク
18:00 (2日目) 9:00	初日終了 2日目再開 ○アクティブ・ラーニング型授業への「リ・デザイン」 ○マイクロティーチング ○振り返り
17:00	閉会

⑤ 「体系的カリキュラム・シラバス作成（インストラクショナル・デザイン）」

◆日 時 : 令和4年9月16日(金) 9:00~17:00

(昼休みは1時間とします。昼食は各自でお取りください。)

◆講 師 : 株式会社ウチダ人材開発センタ

事業推進 ラーニング推進部インストラクション課 担当課長 日暮 薫 氏

予定時間	予定内容
(オンデマンド)	<ul style="list-style-type: none"> ○「オリエンテーション」 ○「事前テスト」 ○「インストラクショナルデザインの概要と必要性」 ○「学習目標の明確化」 ○「課題分析」 ○「シラバスの作成」 ○「コマシラバス(授業計画)の作成」
(9月16日)	
8:45	受付
9:00	開講
	<ul style="list-style-type: none"> ○「理論編の復習、質問」 ○「作成物の共有とグループワーク」 ○「まとめ・質疑応答」 ○「事後テスト」
17:00	閉会

※事情により変更となる場合があります。

※全日の研修内容の受講をお願いいたします。

「(一財)職業教育・キャリア教育財団 集合研修における感染予防ガイドライン」

[研 修 前]

○研修当日までの2週間以内に、発熱や咳などの体調不良が生じた場合は参加をご遠慮いただく。

[研 修 当 日]

—会場準備—

○ソーシャルディスタンスを確保できる広めの会場においてアクリル板等を設置して会場設営する。机・椅子、ホワイトボードなどは事前に消毒する。ペンなどの小備品は共有せず、各自に用意する。

—入室時—

○受講者・講師・スタッフ等、入室者は最低限の人数とし、マスクを着用し鼻・口を覆い、手を消毒する。
○非接触型の体温計で検温し、37.5度以上の発熱のある方は参加をご遠慮いただく。

—研修中—

○受講者・講師・スタッフ等は常にマスクを着用し、鼻・口を覆う。ソーシャルディスタンスを確保し、人との間隔を2メートル程度空ける。ペンなどの小備品は共有しない。

—休憩中—

○窓を開けるなど換気を行う。研修会場へ再入室時には手を消毒する。ソーシャルディスタンスを確保し、マスクを15分以上外さない。

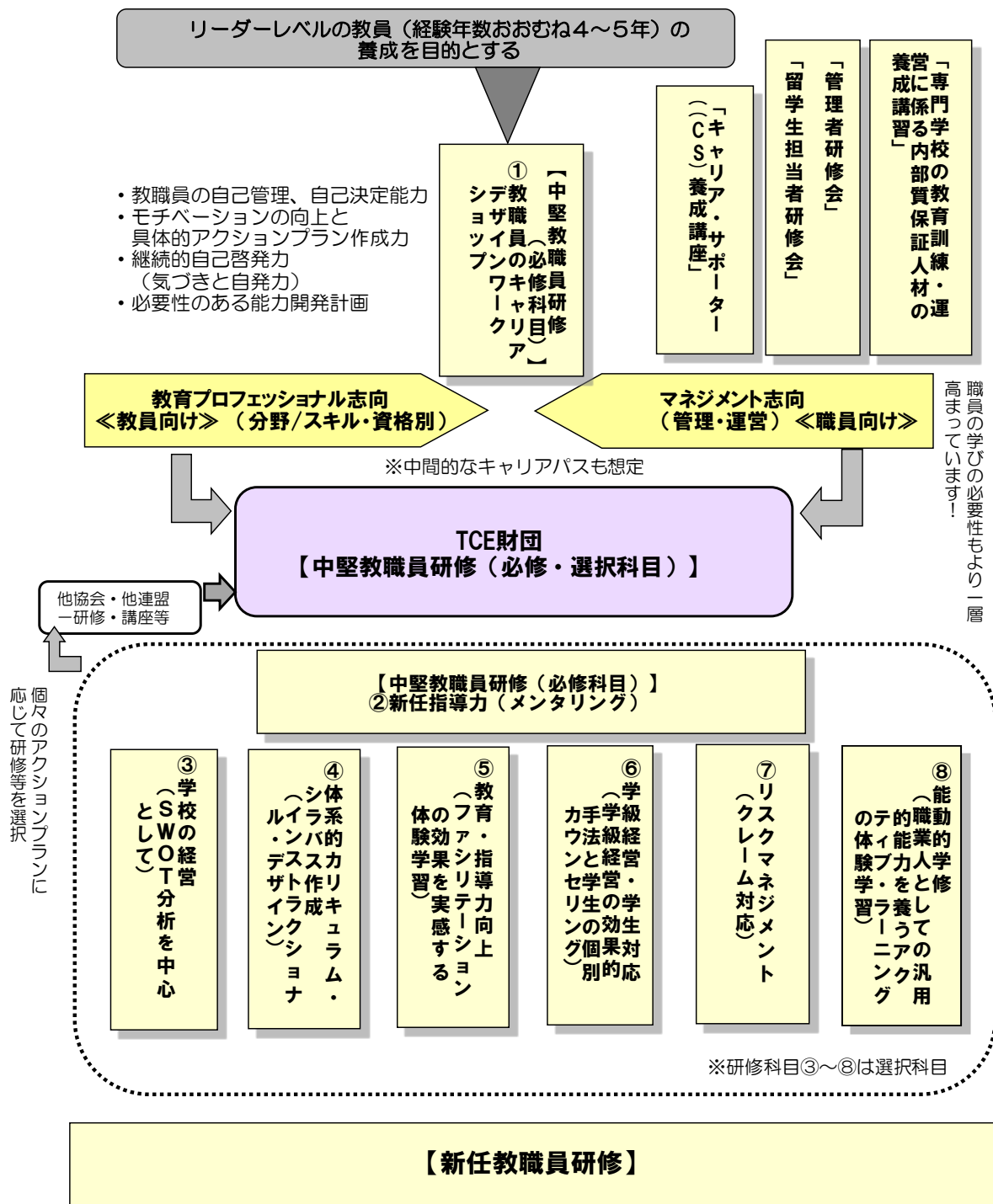
[研 修 終 了 後]

○研修で使用した備品は消毒を行う。

※受講者・講師・スタッフなどの生命と健康を守るため、感染症対策のお願いをさせていただくことがあります。

考え方と構成

- (1) 中堅教職員研修は、「①教職員のキャリアデザインワークショップ(必修科目)」をベースとして、キャリアビジョン及び自ら作成するアクションプランに基づくコアとなる研修科目②～⑧(必修=②・選択必修=③～⑧)を用意。
- (2) ①～⑧の8科目以外に、他の団体・組織主催の研修を含め、各教員のキャリア・就業年数等に応じた研修の受講(継続的能力開発)を奨励する。



7科目受講された方への研修成果のインタビュー

中堅教員研修会全7科目（平成29年度時点）を修了された4名に対し、研修成果のインタビューを行った。（4名のプロフィール概要は以下のとおり。）

修了者	学校分野	性別	年齢	学校勤続年数
A	商業実務	男	48	3年
B	医療	男	43	7年
C	医療	女	38	10年
D	医療	男	38	7年

～気付きと行動変化はありましたか？～

- 学校全体のことや若手職員の育成という点について、受講前よりも意識して行動するようになりました。特に「考えるだけでなく行動する」ということをモットーにし、若手職員のお手本となることはもちろんですが、ベテラン職員の方々からも信頼されるように行動しています。
- 教員としての職務（教育）だけでなく、教員としてどのようなキャリアを歩んでいくかを考える契機となりました。また、自身が与えられた職務をどのような考えで進めて行くかを多元的に考えられるようになりました。
- まず、授業内のグループワークや、個人で参加する研修においては「ファシリテーション」を意識します。また、受講させていただきました「インストラクショナルデザイン」は、次年度のシラバス提出時に生かして見直しを考えております。また、私は防火管理者であることもあり、「リスクマネジメント」について意識することも、同僚に伝える機会も多いように感じます。その他の教科につきましても、テキストを見直したり、用語の確認を行ったりする機会があります。意識面では「キャリアデザインワークショップ」で感じた自身の決意を思い起こすこともあり、貴重な機会であったと認識しております。しかし、日常の雑事に取り紛れて希薄になる瞬間や、浅い知識にとどまり定着していないもどかしさを感じることもありますので継続学習の機会をいただけますとありがたいです。
- 教職員の面談の際に、今まで以上に「質問・傾聴・観察・伝達」を意識して行うよう、努めてきました。また、質問や伝達といったこちらから発する内容も本研修で学んだものから相談内容に適したものを抽出するように努めました。相手の立場を考慮した上で発言し、相手に答えを導き出させるような対応を自然にできてきたと思っています。個人的には、仕事全体の視野が広がり、専門学校の教職員としての在り方がおぼろげながらも見えてきたような感覚でいます。

～今後、中堅教職員研修会を受講される方へのメッセージ～

- 理解しやすいプログラムもあれば、なかなかすぐには理解できないものもあると思いますが、必ず役に立つ時が来ると信じて受講してほしいと思います。また、様々な専門学校の先生方と交流することで、悩みを共有したり解決の糸口を見い出すことができたり、それだけでも研修に参加して良かったと思うことができます。壁にぶつかって悩んでいる方やスキルアップを目指す方にはとても素晴らしいプログラムになっていると思います。ぜひ全てのプログラムのコンプリートを目指して頑張ってください。
- 中堅教員研修は間違いなく大きな収穫を得られる講座となります。一つ一つを大切に受講されることで確実に成長していけると思います。
- 全ての研修を受講して思うことは、どの専門学校でも抱える問題点・課題点を冷静に振り返り分析できる機会をいただけたのだなということです。研修は元より他校の先生方と利害関係なく率直に意見や情報の交換ができたことも大変有意義でした。

別表一覧 一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団（TCE財団）の支部

	都道府県名	名 称	電話番号
1	北 海 道	公益社団法人北海道私立専修学校各種学校連合会	011. 242. 1955
2	青 森	青森県専修学校各種学校連合会	017. 728. 0145
3	岩 手	一般社団法人岩手県専修学校各種学校連合会	019. 624. 8600
4	宮 城	一般社団法人宮城県専修学校各種学校連合会	022. 211. 7157
5	秋 田	秋田県専修学校各種学校協会	018. 832. 5437
6	山 形	一般社団法人山形県専修学校各種学校協会	023. 641. 2323
7	福 島	一般社団法人福島県専修学校各種学校連合会	024. 934. 8833
8	茨 城	一般社団法人茨城県専修学校各種学校連合会	029. 221. 8771
9	栃 木	一般社団法人栃木県専修学校各種学校連合会	028. 678. 3190
10	群 馬	一般社団法人群馬県専修学校各種学校連合会	027. 255. 6861
11	埼 玉	一般社団法人埼玉県専修学校各種学校協会	048. 865. 2195
12	千 葉	一般社団法人千葉県専修学校各種学校協会	043. 243. 3147
13	東 京	公益社団法人東京都専修学校各種学校協会	03. 3378. 9601
14	神 奈 川	一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会	045. 312. 2221
15	新 潟	一般社団法人新潟県専門学校協会	025. 222. 8798
16	富 山	一般社団法人富山県専修学校各種学校連合会	076. 442. 1858
17	石 川	一般社団法人石川県専修学校各種学校連合会	076. 264. 3991
18	福 井	一般社団法人福井県専修学校各種学校連合会	0776. 27. 2024
19	山 梨	一般社団法人山梨県専修学校各種学校協会	055. 235. 8861
20	長 野	一般社団法人長野県専修学校各種学校連合会	026. 235. 3353
21	岐 阜	岐阜県専修学校各種学校連合会	058. 271. 5076
22	静 岡	公益社団法人静岡県職業教育振興会	054. 251. 2335
23	愛 知	一般社団法人愛知県専修学校各種学校連合会	052. 957. 1392
24	三 重	三重県専修学校協会	059. 229. 4070
25	滋 賀	滋賀県専修学校各種学校連合会	077. 525. 4572
26	京 都	一般社団法人京都府専修学校各種学校協会	075. 344. 2330
27	大 阪	一般社団法人大阪府専修学校各種学校連合会	06. 6352. 0048
28	兵 庫	公益社団法人兵庫県専修学校各種学校連合会	078. 391. 7010
29	奈 良	奈良県専修学校各種学校連合会	0742. 93. 5670
30	和 歌 山	和歌山県専修学校各種学校協会	073. 423. 9770
31	鳥 取	一般社団法人鳥取県私立学校協会専修学校各種学校部会	0857. 29. 4266
32	島 根	一般社団法人島根県専修・各種学校連盟	0852. 23. 5548
33	岡 山	一般社団法人岡山県専修学校各種学校振興会	086. 226. 7198
34	広 島	公益社団法人広島県専修学校各種学校連盟	082. 227. 8210
35	山 口	一般社団法人山口県専修学校各種学校協会	083. 924. 0239
36	徳 島	一般社団法人徳島県専修学校各種学校連合会	088. 652. 5899
37	香 川	一般社団法人香川県専修学校各種学校連合会	087. 822. 3001
38	愛 媛	一般社団法人愛媛県専修学校各種学校連合会	089. 935. 4510
39	高 知	一般社団法人高知県専修学校各種学校連合会	088. 840. 6111
40	福 岡	一般社団法人福岡県専修学校各種学校協会	092. 292. 6104
41	佐 賀	佐賀県専修学校各種学校連合会	0952. 26. 8311
42	長 崎	一般社団法人長崎県専修学校各種学校連合会	095. 844. 1378
43	熊 本	一般社団法人熊本県専修学校各種学校連合会	096. 372. 6444
44	大 分	一般社団法人大分県専修学校各種学校連合会	097. 537. 2471
45	宮 崎	一般社団法人宮崎県専修学校各種学校連合会	0985. 29. 5288
46	鹿 児 島	一般社団法人鹿児島県専修学校協会	099. 213. 9110
47	沖 縄	一般社団法人沖縄県専修学校各種学校協会	098. 858. 7070

令和4年度 中堅教職員研修会 受講申込書

令和 年 月 日<申込期限：7月8日(金)>

都道府県名 _____ 学 校 名 _____

ふりがな
受講申込者 氏 名 _____

部署・役職名 _____

性別： _____ / 年齢： _____ 歳 / 生年月日： _____ 年 _____ 月 _____ 日

専修学校教職員勤続年数： _____ 年 _____ 月 企業・施設等での実務経験年数： _____ 年 _____ 月
※勤続年数は「常勤・非常勤」又は「専任・兼任」の期間の通算をご記入下さい。 ※実務経験年数は教員採用後の短期的な実務研修期間も合算してご記入下さい。

e-mail _____ @ _____ TEL _____ — _____ —

受 講 料

該当されるものについて、にチェックをお付けください。

受講科目	TCE財団都道府県支部の会員校	左記以外
学級経営・学生対応	<input type="checkbox"/> 7/14~15(対面) 13,500円	<input type="checkbox"/> 27,000円
リスクマネジメント	<input type="checkbox"/> 7/22(オンライン) 9,000円	<input type="checkbox"/> 18,000円
教員のキャリアデザインワークショップ	<input type="checkbox"/> 8/22~24(対面) 30,000円	<input type="checkbox"/> 60,000円
能動的学修	<input type="checkbox"/> 9/5~6(対面) 13,500円	<input type="checkbox"/> 27,000円
体系的カリキュラム・シラバス作成	<input type="checkbox"/> 9/16(オンライン) 13,500円	<input type="checkbox"/> 27,000円

※受講料はお申込みの学校名にてお振込ください。法人名にてお振込の場合は、下記に法人名をご記入ください。
(学校法人名： _____)

振込予定日 令和 _____ 年 _____ 月 _____ 日

ご利用銀行 _____ 銀行 _____ 本・支店より
(振込手数料は貴校にてご負担ください)

※ご提供いただいた個人情報は、研修会開催前後の事務連絡、研修時のグループ分けの為に利用させていただきます。
※講師・受講者・事務局・オブザーバーに配布する「受講者名簿」に都道府県名・氏名・学校名のみ掲載させていただきますので、ご了承ください。

【お申込先】(送付状は不要です。本紙のみお送りください。)

一般財団法人 職業教育・キャリア教育財団 事務局 総務課

FAX: 03 (3230) 2688

※ 申込書はホームページからもダウンロードできます。

※ 複数名のお申し込みをされる場合にはコピーしてお使いください。